

12月月例報告書

国際文化学科3年



●クリスマスパーティー

月の初めのほうにクリスマスパーティーがありました！様々な国籍の生徒が参加していました。400人の人数制限があり、事前に抽選を行いました。交換留学生もたくさんいました。私はルームメイトと一緒に参加したのですが、正面に座ってきた香港人がユニークな方たちで、クイズ大会などでみんなで盛り上がれて楽しかったです！

クイズ大会のほかにも、会場の壁際にはたくさんのワークショップがありました。サンタの格好をした人と一緒に自撮りをするスティック型の飴がもらえたり、ゴスペラサークルや有志のステージを楽しめたり、充実した時間でした。たくさんのプレゼントがある抽選会で、えらめの先生が急所参加して新しい賞をつくったのですが、その景品が現金でした！さらにその賞に当たった子がこのパーティーのスタッフをしていた私の友人でした！いいなー！！

ドレスコードは、深い赤でしたが、ドレスを着た人、自分の国の民族衣装を着た人、クリスマスツリーの仮装をした人、様々な格好がいました。



カップケーキにデコレーション！



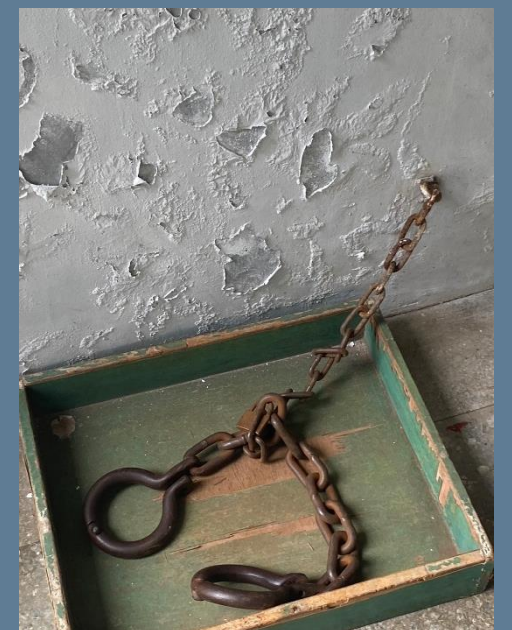
●教室以外での授業

火曜日に受けている台湾の文化と歴史について学ぶことができる授業にて、授業が博物館で行われることが通知されました。人によっては次の授業に間に合わないということで、クラスの半分ぐらいが欠席していました。白色恐怖景美記念園區というところで集合し、博物館のスタッフによるガイドツアーで見学しました。ここは、政治犯の収容施設跡地であり、人権や民主主義について考えさせられる重いテーマを持ったところです。当時の裁判の様子に関する説明を聞くことができます。貴重な資料もたくさんあり、とても学びになる施設でした。

ここはアクセスが悪く、バスに乗っても地下鉄に乗っても遠回りだと感じたのでyoubikeを使って行ったのですが、行くときに迷子になって予定の2倍時間がかかりました。川辺の公園を通るのですが、めちゃくちゃ涼しくて気持ちよかったです。また、授業自体が予定より1時間遅く終わったので、次の授業に間に合わせるために昼ご飯抜きで爆走しました。何とか間に合いました^^；



↑ 面会室



実際に体験できる足枷↑

●期末考試

あっという間に期末が来てしまいました。各科目によってやり方は様々でした。期末についても科目ごとに書いていこうと思います。

中国語の授業である総合華語はテストでした。テスト当日に発熱してしまったのですが、すぐに担当の先生に連絡をして、別日に受けることができました；；この授業、途中から先生が骨折したことによってオンライン授業になっていたので、復習が大変でした。範囲になっている部分を読み返して、習った文法で作文ができるように練習したり、詩に関する自分の意見や感想を書けるように対策したりしました。

台湾の歴史と文化に関して学ぶ授業では、ポスターやppt、動画などから一つ選び、好きなテーマで作成するというものでした。私はポスターで眷村について調べて作りました。火曜日の授業なのですが、提出は直前の日曜日で、授業最終日に先生によって決められたグループで、1人5分話すという感じでした。直前に話す内容をメモに書いて練習していったのですが、緊張しすぎてたくさん飛ばしてたくさん詰まりました；；しかも当日の私のパソコンが壊れてしまって、自分のポスターが表示できなくなってしまったのですが、パソコンを貸してくれる子がいたり、人の発表の感想を言う番になったときに言葉に詰まってても私が話す終わるまでゆっくり相槌しながら待っててくれたり、やさしい人たちばかりでほんっとに救われました！



教壇に立つ私です。何も
伝わらないと思いますが
載せておきます



ご褒美(?)として買った
大学のスウェット



プログラミングの授業は、完全に初めの授業のときに組んだグループの子たちが優秀すぎました。全員文系のプログラミング未経験者だったのですが、個人課題の時もグループ課題の時も頻繁にLINEグループが動く方で、報連相がしっかりしていたので進めやすかったです。期末はグループでゲームを一つ作るというものでした。設定もデザインも指定がない自由度の高いものでしたが、授業で習った基礎的なものでは完成できないようになっていて、大変そうでした。グループで話し合っ役割分担をしたのですが、私が交換留学生だからということで、ゲームの美術担当になりました。期末課題プログラミングかいてないんですね。絵をかいてただけなんです、ずっと。とてつもない優遇を受けました。

教育導論の期末はグループでのプレゼン発表とテストがありました。プレゼンのテーマは教育に関係していればなんでもよかったので、グループで相談して、日台の教育比較についてやることになりました。pptを作成して、カンペを用意してから挑みました。この授業では、台湾の歴史と文化について学ぶ授業での発表を反省し、話したい内容を箇条書きにしておきました。結局本番は緊張でいっぱい飛ばすしちんたら話してしまいましたが、グループだったので終始気持ちが楽でした！

MTCの授業を取る代わりに大学の授業を多くとった人として、今後留学する人には、誰かと一緒に受講するか中国語の環境に慣れてから受講することをお勧めしたいです。慣れていない人ひとりだと結構きついだろうなーと思う場面がたくさんありました。

●今月の食

寮の近くのお店たち



↑人生で初めてタイ料理を食べました！↑
おいしすぎて次の日も食べました。



臺灣では、飲みの文化がなく、日本で言う居酒屋のような場所は少ないです。餐酒店というお酒をたしなむお店やバーが一般的です。



一人焼肉



崔先生とご飯



放課後にスフレ^^

知らない食材がある海鮮丼



↑おしゃべり〜〜〜↑



有名な火鍋のお店が出している、スーパーで買えるマーラータンです。水を入れて特殊な袋を入れると水が沸騰してアツアツの状態です。→



寮近くの良い血にある
カフェ兼バー

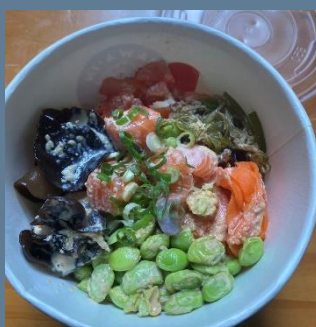


↑替え玉無料のラーメン屋
大声で二回替え玉しました



マレーシア料理

安定ポキ



臺灣はカフェで仕事をしたり勉強をすることが、日本よりも定着しています。お店によっては長時間利用可能！



●カラオケ

台湾のカラオケに行った時に知った日本のカラオケと違いところを書いておこうと思います。まず、入り口が豪華すぎる。ホテルかと思いました。フロントの人もしっかりめでシャンデリアつり下がってました。つぎに各個室にトイレがついていることです。日本だと階によってはトイレがなかったりするので便利だと思いました！また日本で曲を選ぶときはジャンルや頭文字、歌手などですが、台湾ではなんと曲のタイトルの文字数でした！日本の曲もむかしのですが、やや入っていました。



刈包

●台中



台中には一人で行ってきました。もともとは台中の中心あたりまで高鐵という新幹線のようなもので行って、目的地まではそれぞれバスで行く予定でした。でも12月17日という日本に居たら寒い時期に24℃という天気だったので、全部歩いていくことにしました☀

まず初めに向かったのは、台湾国立美術館です。ものすごい数の展示があるにもかかわらず、入場料が無料でびっくりしました。台湾だけではなく、世界中の芸術家の作品がありました。



お昼ご飯は地元の人しか行かないようなディープな市場に行ってみたくて、結構歩いて向かいました。飛び交っている言葉の半分が台湾語で、年配の方がほとんどでした。メニューのイメージが想像できなくて、おすすめをたずねたのですが、全部うまいよ！しか言われなかったのが、適当に麺を頼みました。見た目は超素朴ですが、めちゃくちゃおいしくてびっくりしました。目の前にスープの鍋があっていい匂いがしたので後からスープも注文しました。激熱だったので大汗かきましたが大満足でした^^有名な宮原眼科にも行ってアイスを食べました。



●退寮について

メールで送られてきた資料をコピーして、学科の先生、図書館、寮の順でハンコを押してもらいます。私は退寮日より早く退寮したので、部屋のチェックは受けませんでした。電気代は部屋の一人が払ってくれて、人数で割った額をその子に渡しました。荷物が入りきらなかったのが、一部は海外郵送にしました。寮キャンパス内の郵便局でできます。スマホでいろいろ登録します。おじさんがきっと教えてくれます。

●留学の感想

台湾の授業を受けていて感じたことは、日本に比べて、AIを取り入れていることが多いということです。授業の最後のほうにグループで話し合いをする授業が多かったのですが、自然な流れで誰かがチャットGPTを起動して、みんなでどの部分を書くか選んで、誰かが書くという感じでした。授業中でもご飯やお菓子を食べていいところも、時間が取れないときに助かりました。留学生が受講する中国語の授業での雰囲気は、みんな積極的に手を挙げて、エピソードトークしたり質問をしたり、自由で明るい感じがしました。みんなポジティブでお互いを尊重しあう空気があって毎授業が楽しみでした。

個人的に台湾の好きなところは、見た目について気にしなくていいところです。すっぴんで出歩く人のほうが多いので、メイクをしていくと店員に観光客だと思われて英語で接客されることが何回かありました。あとは服です。ほんとうに適当でも誰も何も言わない環境が魅力に感じました。ある授業の先生が、ミニスカートと肩が出ている服で授業をしていて、この人先生なのにすごい格好してるなーとか思っていたんですけど、人の服装に自分の考えを持った私のほうが異常なんだなと気づき、反省しています。全身蛍光な人や全部柄物の人、子供用ヘアアクセ、みんな自由に楽しんでいていいなと思いました。私も日本にいたら買うのをためらいそうなアクセサリを何個か買ってみました^^

毎日どこかに出かけて、様々な出会いがあって、このひと学期という期間は非日常ばかりで本当に有意義な時間でした。中国語の能力もどんどん良くなっていくのを実感していました。いろんな人とコミュニケーションをとるうちに普段では全然考えないようなことを考えるようになったり、新しい発見があったり、人間としても成長できたような気がしています：)

もう現地の子と授業後にカフェに行っておしゃべりすることも、13言語話せるドイツ人とお昼ご飯を食べることも、フィンランド人とパラグアイ人とインドネシア料理を食べることもないんだなあとと思うとほんとに貴重な経験をしたなと実感します。ほかにもたっくさん特別な体験ができました！留学中に会った人達は幸運にもいい人ばかりで、たくさん助けてもらいました。いやなこと当然ありましたが、ほんとうに来てよかったです。留学するにあたってお世話になったすべての人に感謝しています。ここまでの留学レポートを読んでくださった人達もありがとうございました！！